

## ■ 畜産職の仕事とは

県職員の畜産職は、畜産の生産振興や畜産物のブランド力向上のための各種施策の立案・推進をはじめ、畜産農家への生産及び経営指導などの行政・普及業務と、家畜の育種改良や飼養管理技術の開発などの試験研究業務に分かれています。主に行政・普及業務は県庁や農林事務所にて、試験研究業務は畜産センターを中心に行っています。

### 【行政関連業務】

- 本庁畜産課(水戸市)
  - 畜政G、生産振興G、経営環境G
  - 家畜衛生・安全G
- 各農林事務所畜産振興課
  - 県北地域：常陸太田市
  - 県央地域：水戸市
  - 鹿行地域：鉾田市
  - 県南地域：土浦市
  - 県西地域：筑西市
- 県立農業大学校(茨城町)

### 【試験研究業務】

- 畜産センター(石岡市)
  - 企画情報室、飼養技術研究室、繁殖技術・ゲノム研究センター、生産技術研究室
- 畜産センター肉用牛研究所(常陸大宮市)
  - 改良研究室、飼養技術研究室
- 畜産センター養豚研究所(稲敷市)
  - 育種研究室、飼養技術研究室

# 畜産職の配属先



## ■ 業務内容（畜産課）

畜産課では、県の畜産振興に向けた各種施策の立案・執行・農家への経営指導を実施している。

畜政G、生産振興G、経営環境G、家畜衛生・安全Gの4Gで構成されている。

畜

畜 政 G

畜産の企画調整、県議会の陳情及び請願、試験研究機関との連絡調整、国・畜産団体との調整、畜産技術研修、畜産の広報、家畜商免許に関する業務等

生 産 振 興 G

家畜(肉用牛・乳用牛・豚・鶏等)の生産振興・改良増殖、家畜人工授精及び種畜検査、自給飼料の生産対策、畜産物の銘柄確立・普及、畜産物の輸出推進業務等

経 営 環 境 G

家畜排せつ物処理施設整備、たい肥の利用促進対策、草地・畜産施設等の総合的整備推進、畜産経営環境対策、畜産振興資金に関する業務等

産

家 畜 衛 生 ・  
安 全 G

鳥インフルエンザなどの家畜伝染病予防及び獣医事、食肉の流通体制、生産・流通情報の提供システム、BSE死亡牛検査及び流通飼料の安全と品質確保に関する業務等

課



# ■ 業務写真（畜産課）

銘柄畜産物ブランド力強化・生産振興対策



国内外における販路拡大・販売促進



畜産物の消費啓発・PR活動



職場風景



## 畜産課に興味のある方へ

畜産課では、県全体の畜産振興を目的に、時には海外にも出張するなど、幅広い分野での業務に携わることができます。あなたのアイデアが本県畜産を牽引する施策になるかもしれません。茨城県を盛り上げるために、私たちと一緒に働いてみませんか。

## ■ 業務内容（農林事務所）

農林事務所では、畜産農家や市町村等を対象に、国・県の施策について周知・調整・事業実施に必要な手続き(計画申請、補助金執行、実績確認報告等)の支援・審査を行う。また、畜産農家や関係企業の環境等調査や経営指導等を実施する。

### 畜産振興課

畜産経営体の規模拡大や生産性向上の取組支援、和牛繁殖雌牛の増頭による常陸牛の一貫生産体制の構築と高品質化支援、銘柄畜産物の生産振興、家畜排せつ物の適正管理と利用促進による地域の環境と調和した畜産経営指導等

生産者と勉強会・研修会の様子



経営指導や環境調査の様子



### 農林事務所に興味のある方へ

農林事務所では、現場に一番近い県庁職員として直接農家とコミュニケーションを取りながら業務を実施します。このため、生産者と一緒に生産対策や経営改善に取り組むことができ、とてもやりがいのある職場です。

## ■ 業務内容（畜産センター本所）

畜産センターでは、県内畜産振興を目的とした新品種・新技術・先端技術の開発のほか、国産飼料を利用した低コスト技術や資源循環型畜産を目的とした試験研究、飼料・堆肥等の成分分析、酪農畜産物加工体験等を実施している。

### 畜産センター

#### 企画情報室

試験研究の企画調整、研究成果の広報、酪農・畜産物加工体験に関すること

#### 飼養技術研究室

乳用・肉用牛の飼養管理技術、飼料作物の育種管理技術に関する研究

#### 繁殖技術・ゲノム研究センター

牛受精卵の安定供給や移植技術の普及、繁殖生理及び常陸牛の品質向上に関する遺伝子の研究

#### 生産技術研究室

家畜排せつ物の処理技術、鶏の飼養管理及び種鶏の改良に関する研究

#### 〔参考〕試験研究テーマ

- ・ 活性酸素代謝物を指標とした牛体内胚採取成績向上方法の開発
- ・ 鶏の産卵率向上技術の開発に関する試験研究
- ・ 黒毛和種牛肉のおいしさ向上に係る脂肪酸関連遺伝子と熟成に関する試験研究等

## ■ 業務内容（肉用牛研究所、養豚研究所）

### 肉用牛研究所

肉用牛研究所では、「常陸牛」生産の基礎となる優良な種雄牛を造成し、黒毛和種の改良を推進するとともに、新しい肉用牛の飼養管理技術や草地の管理・利用技術を研究している。

#### 改良研究室

肉用種雄牛の造成及び改良に関する研究

#### 飼養技術研究室

肉用牛の飼養管理及び草地管理に関する研究

### 養豚研究所

養豚研究所では、「常陸の輝き」、「ローズポーク」等高級豚肉の基礎となる系統豚の造成や優良種豚を育種するとともに、高品質で付加価値の高い豚肉や、生産費低減のための飼養技術を研究している。

#### 育種研究室

系統豚の造成及び種豚の改良に関する研究

#### 飼養技術研究室

豚の飼養管理に関する研究

### 畜産センターに興味のある方へ

畜産センターでは、銘柄畜産物のブランド力強化や資源循環型畜産等を目指した試験研究を実施しています。県内畜産振興や生産者が抱える課題の解決に向けて一緒に試行錯誤してみませんか。

# ■ 1日の勤務の流れ

## ◆A主任のとある1日（畜産課勤務）

○月●日	8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	19:00
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール確認</li> <li>・連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング</li> <li>・担当業務の資料作成</li> <li>・電話応対</li> <li>・事務処理</li> </ul>	昼休憩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業関係資料の作成</li> <li>・照会などの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業関係ミーティング</li> <li>・報告書等作成</li> </ul>	終業・帰宅

□月■日	7:00	10:00	12:00	13:00	14:00	15:45
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和牛枝肉の調査業務（出張）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇団体との事業打合せ（出張）</li> </ul>	昼休憩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール確認</li> <li>・連絡調整</li> <li>・電話応対</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書等作成</li> <li>・事業関係資料作成</li> </ul>	※ 終業・帰宅

※時差出勤の適用

注) あくまで参考ですので部署や時期により状況は異なります。



# ■ 1日の勤務の流れ

## ◆ B技師のとある1日（畜産センター肉用牛研究所勤務）

○月●日	8:30	10:00	12:00	13:00	16:00	17:15
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール確認</li> <li>・連絡調整</li> <li>・飼養状況、ほ場確認</li> <li>・現場打ち合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験研究関係打ち合わせ</li> <li>・資料作成</li> </ul>	<p>昼休憩</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖農家指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼養状況、ほ場確認</li> <li>・資料作成</li> </ul>	<p>終業・帰宅</p>

□月■日	8:30	10:00	12:00	13:00	19:00
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール確認</li> <li>・連絡調整</li> <li>・飼養状況、ほ場確認</li> <li>・現場打ち合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛精液の採取</li> </ul>	<p>昼休憩</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛精液の凍結処理</li> <li>・飼養状況の確認</li> <li>・ほ場確認</li> <li>・資料作成</li> </ul>	<p>終業・帰宅</p>

注) あくまで参考ですので部署や時期により状況は異なります。

# ■ 災害やイベントなどへの対応

- ◆平成27年9月関東・東北豪雨災害（2015）  
常総市・下妻市被害状況現地調査、支援物資の仕分け作業



- ◆令和元年台風第19号（2019）  
米平公共育成牧場災害復旧工事



- ◆鳥インフルエンザ・豚熱（2021-2023）  
防疫措置に関連する業務



注）現地対策班防疫作業マニュアルから抜粋

- ◇輸出促進に向けた県産品フェア（2020）  
アメリカのスーパーで常陸牛や常陸牛弁当の販売



- ◇東京食肉市場まつり（2022）  
イベント開催事前準備、県PRブース管理運営



- ◇新ブランド「常陸牛煌」のブランディング（2023）  
ブランディング検討会の開催、プレス向け発表会の開催



注）あくまで参考ですので部署等より対応内容は異なります。

## ■ ご視聴ありがとうございました

畜産業の持続可能な発展のため、やりがいのある仕事です。私たちと一緒に茨城の未来を創りましょう。

畜産職の具体的な業務内容や茨城の畜産に関する情報は、茨城県畜産課のホームページでも確認できます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/chikusan/index.html>

また、茨城県畜産センターではFacebookを開設しており、畜産センターでの取組や試験研究情報等を発信していますので、ぜひ確認してみてください。

<https://ja-jp.facebook.com/ibarakichikuse/>

